

大野城市 コミュニティ活動応援ファンド事業

令和6年度

実施報告会 報告書



日時 ▶ 令和7年6月7日（土）14時～17時

会場 ▶ 大野城まどかぴあ2階 小ホール

主催：パートナーシップ活動支援センター<運営：NPO法人共働のまち大野城>
共催：大野城市



実施概要

名称：大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業令和6年度実施報告会

開催日時：令和7年6月7日（土）14:00~17:00

開催場所：大野城まどかぴあ2階 小ホール

第1部

- ・ ファンド事業の説明
- ・ 団体による事業報告会

1. 「子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業」
Onojoこどもコミュニティ
2. 「主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業」
スマイルフレンズ
3. 「傾聴活動」
大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

4. 「地域猫活動」
雑餉隈町地域猫の会
5. 「安全なまち大野城」
NPO法人route

第2部

- ・ 講演会 「SDGs時代の持続可能なまちづくりを考える」
～ 引き続き必要不可欠な多様性・衡平と包摂（DE&I）～

SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO 田瀬 和夫 氏

実施実績

来場者数 38人



会場概要

会場名 大野城まどかぴあ

住所 大野城市曙町2-3-1

アクセス 西鉄春日原駅より徒歩約10分

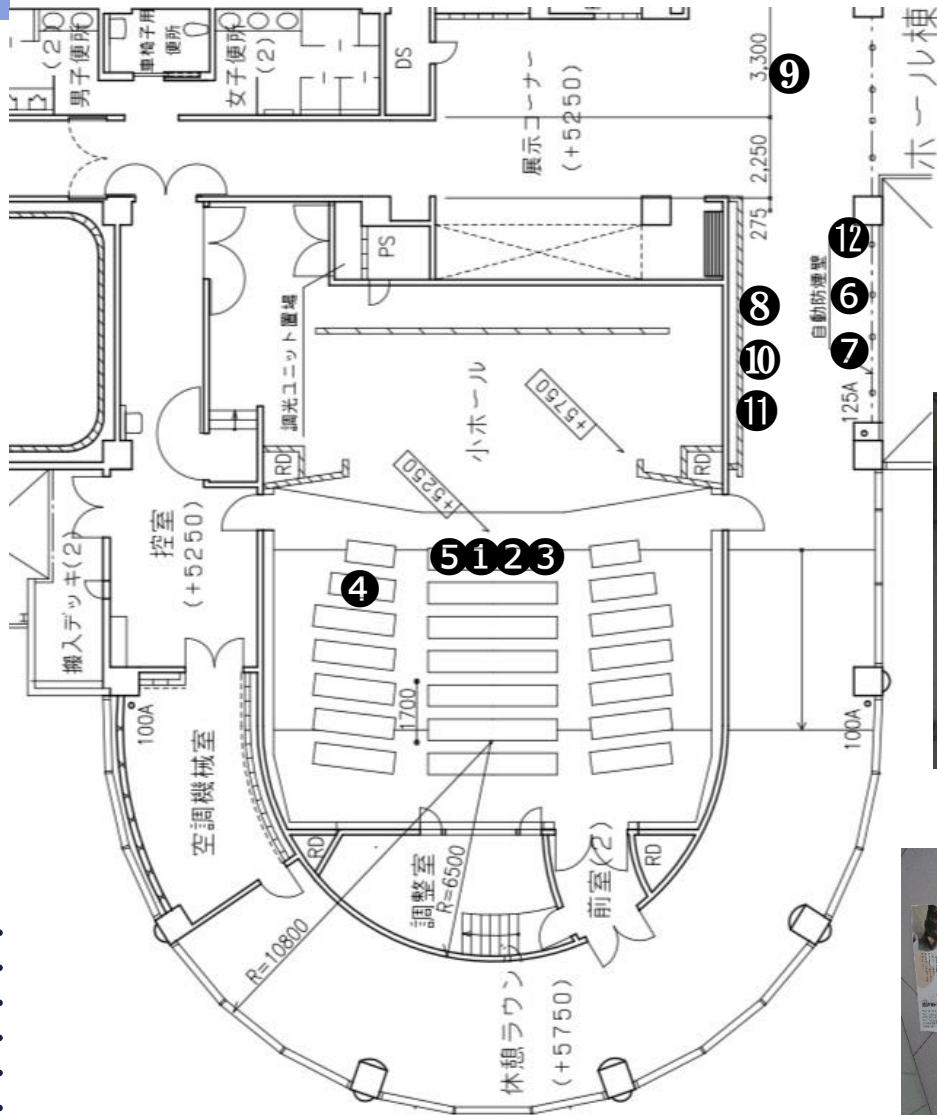
JR大野城駅東口よりコミュニティバス約10分「まどかぴあ」下車すぐ

高速九州自動車道 太宰府I.Cから約1.5km

福岡都市高速 大野城出入口から約2.0km



会場レイアウト



【会場内】

①市長席②理事長席③副理事長席④報告発表団体席⑤講演会ゲスト席

【ロビー】

⑥受付⑦相談会ブース⑧団体チラシ掲示⑨令和6年度実施報告団体紹介ポスター

⑩これまでの助成事業紹介ポスター⑪令和7年度助成事業紹介ポスター

⑫ (NEW) 応援メッセージ記入コーナー



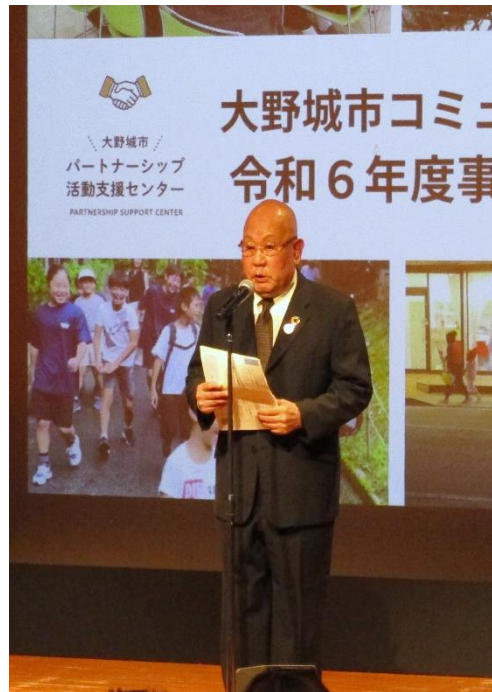
挨拶

開会挨拶

大野城市
市長 井本 宗司 様



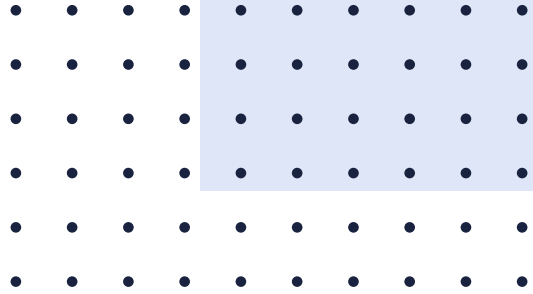

共働のまち大野城
理事長 穴井 芳春



閉会挨拶

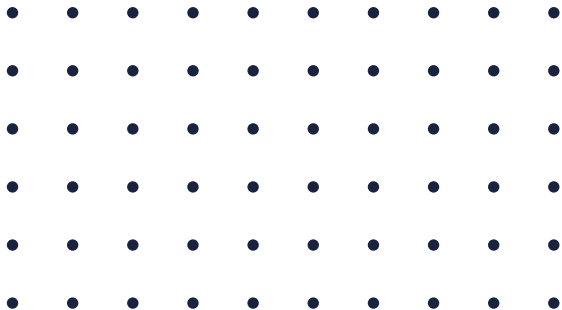
共働のまち大野城
副理事長 高山 やす子





第1部

ファンド事業の説明 団体による事業報告



ファンド事業の説明

ファンド事業について、事業概要から実際に助成を受けた事業例までを動画形式で説明を行った。

事業説明動画
二次元コード



ファンド事業とは

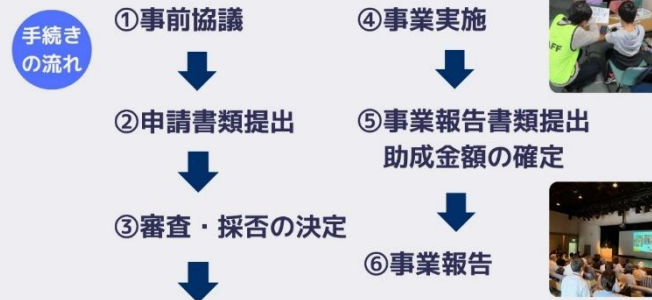
- 1 事業概要
- 2 助成金交付額
- 3 審査会と審査基準
- 4 申請から報告まで
- 5 助成事業例

事業概要



大野城市内で「地域のためになる活動」「地域課題解決につながる活動」を主体的に実施する市民団体などの事業に対して、事業経費の一部を予算の範囲内で助成する制度です。

申請から報告まで



1

事業名： 子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業
 団体名： Onojoこどもコミュニティ

申請年度： 1年目
 助成額： 254,000円
 総事業費： 282,678円

子どもが地域活動に参加する機会が減少し、地域社会における生活体験・社会体験・自然体験が不足していることから、子どもたちに地域社会での活動を提供し、主体性を持って継続的に地域活動が実施できるようさまざまな取り組みを行っている。

ONOJOこどもコミュニティについて

団体概要/事業概要

団体概要

団体名	Onojoこどもコミュニティ
設立年月	2023年10月
代表者名	古野 歌代子
会員数	35名 (2025年3月末時点) うち、子ども会員29名
目的	子どもが主体となり活動・展開できる地域活動を整備することで、地域の未来を担う子どもの育成及び地域活動の活性化を目指す

事業概要

- 大人や幅広い年代の友人と定期的に交流する機会の提供【週に1回】
 - スポーツ活動
 - サッカー
 - バasketボール
 - ドッチボール 等
 - 文化活動
 - 英会話教室
 - 音楽鑑賞 等
- 子どもたち主体で行事の企画・運営【年5-6回】
 - 地域貢献のためのボランティア活動
 - 職業体験
 - キャンプ
 - 運動会 等

初年度は主に活動の基盤整備に注力

R6年度の取組内容と効果

取組内容

管理面

定期的に活動を開催できる体制を構築

- 週1回の活動が可能な人材の確保
- 情報発信ツールの整備
 - ・ 公式LINEの立ち上げ
 - ・ Instagramによる広報
 - ・ チラシの配布 等

事業面

随時子ども達と協議しながらイベントを開催

- スポーツ活動(週1回)
- キャンプ
- クリスマス会 等

効果

- 会員数が約3倍に増加
 - 12名(2024/6時点)から
 - 35名(2025/3)へ増加
- 他団体への認知も徐々に拡大
 - 大野城を中心に活動する他団体(まどかのふもと等)との情報交換

子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業

以下モデルの構築を目指す


- 大人や幅広い年代の友人と定期的に交流・協議する場の提供【週に1回】
 - 集団で実施できるスポーツ活動(サッカー、Basketボール等)、文化活動(英会話教室、音楽鑑賞等)
- 子どもたち主体で行事の企画・運営【年5-6回】
 - 地域貢献のためのボランティア活動、農作業体験、キャンプ等
- 活動財源を確保するための工夫
 - 会員増加に向けた取組(SNSを用いた広報活動)、バザー活動等

2025/5/25

R7年度の活動予定

活動月	主な活動(予定)
6月	
7月	職場体験
8月	キャンプ
9月	大文字まつり出店
10月	ボランティア活動(地域の清掃活動参加)
11月	まどかフェスティバル出店
12月	クリスマス会開催
1月	ボランティア活動(地域の清掃活動参加)
2月	講演会/ワークショップ
3月	反省会

LINE公式アカウントにて
随時情報発信致します



2

事業名： 主婦友・ママ友サポート & 子育て応援事業
団体名： スマイルフレンズ

申請年度： 3年目
助成額： 200,000円
総事業費： 238,326円

毎回ひとつのテーマに沿った子育てサロンを開催することで、主婦友・ママ友作りをサポートするとともに子育て情報なども提供している。LINE公式アカウントにて、参加者やボランティアスタッフの募集を行っている。

活動のきっかけと目的

○ きっかけ

子どもを中心とした子育てサロンなどの地域活動はあるけれど、主婦やママが地域に関わり、知り合いを作るサロンがなかなかない
子育て中のママが自分時間を作り、リフレッシュできる場所を作りたい

○ 目的

毎回ひとつのテーマに沿って主婦友・ママ友作りをサポートし、子育て情報なども提供
ひとつのテーマを掲げることで共通の話題ができ、話しやすい環境を作る
主婦・ママの孤立化を 방지、同じ悩みを共有する

こんなサロンでありたい

みなさんと・・・

- おしゃべりしながらリフレッシュできる場所
- 一緒に共有したり相談したりしながら情報交換する場所
- 同じ悩みをもった者同士で共感し不安を解消する場所
- このサロンでの出会いによって人とつながり視野が広がる場所

テーマについて・・・

どなたでも気軽に参加できるものや子育てサロンに近いもの、共通の悩みに対して特化したものまで毎回さまざまなテーマを設けています
テーマによっては託児付きでの開催もあります

また他ボランティア団体や各事業者様などのコラボ企画も実施し、WinWinの関係にもなれたらと思っています

3年目の取り組み

託児付きサロン

引き続き毎年恒例のテーマ「アロマとプチヨガでリフレッシュ」をはじめ、コラボ企画でも託児を設けて、ママに自分時間を作って頂きました

土曜日開催・出入り自由

今回は「スマイルフレンズフェスティバル」と題して、出入り自由のどなたでもご参加可能としてパパや子どもの年齢関係なく家族で来て頂ける機会も設けました

福祉フェスティバル出店

昨年はサロンの展示のみで参加しましたが、2024年は初出店
子供向けのゲームコーナーやフリーマーケットなどを実施し、過去にサロンに参加して頂いた方から初めての方まで、幅広い年齢層にサロンのことを知ってもらう機会を設けました

3年目の取り組み

他ボランティア団体・事業者様とのコラボ

前年度よりも更に多く4回のコラボ企画を実施しています

- ビューティサロン Suger (2024年4月)
- ホリスティックビューティサロンChoeur クール (2025年3月)
普段は家事や育児に追われ、自分のための美容になかなか時間がかけられない...という主婦やママさんたちに、たまにはこういった時間もあればという思いから企画しました
短時間でできるセルフエステやお肌の悩みなどを相談したり、ゆっくりフリータイムもできて和やかでした
- キッズマネースクール (2024年8月)
初めて年少から小学校低学年のお子様を対象にして夏休み期間に実施しました
お子様もお金のことを遊びながら学べ、親はおこづかいをあげる時期などをFPの方に相談されたり親子で学べる機会となりました
- 大野城社会福祉協議会ボランティア団体 およのかいMIRAI (2024年10月)
子どもの発達に不安があったり不登校のお子様をもつ保護者に寄り添う活動をされている団体で、ファンド事業を通じた助成団体の繋がりでコラボさせて頂きました
参加者の方にはこちらの団体もご紹介し、団体同士が繋がる良いきっかけとなりました

3

事業名： 傾聴活動

団体名： 大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

申請年度： 2年目

助成額： 177,000円

総事業費： 196,875円

「傾聴を通して心のつながりを深め広く地域に絆をつくること」、
「ボランティアメンバーが楽しみながら交流やスキルアップに取り組み、
自己の成長を目指すこと」を目的に活動している。

事業目的



- ・傾聴できるボランティアを養成し、社会福祉協議会や市内の介護事業所のケアマネージャーさんとの連携により、幅広く活動する。
- ・老若男女、年齢、性別にかかわらず、必要性が生じれば、どなたにも傾聴活動をする。
- ・スキルアップすることにより、傾聴活動を通して、癒しや安心感を与えることを目的とする。

活動内容

- ・定例会：毎月第1火曜日13:30~15:00 福祉センター
- ・傾聴活動：デイサービスセンター、老人ホーム、個人宅など
- ・傾聴ボランティア養成講座の開催
- ・会員の研修会
- ・他団体との交流/情報交換
- ・イベントでのPR活動（福祉フェス/ボランティアの集い）
- ・チラシ掲示依頼（公民館/コミュニティセンター/市役所など）

事業目標

- ・ボランティアの人数増加
- ・訪問回数増加（施設/個人宅/その他）



事業効果

- ・孤独、孤立化を防ぎ、悩みや不安などを少しでも減らす
- ・日常生活においても、安心して元気に過ごすことができる

今後の展望

- ・会員のスキルアップ（研修会/他団体との交流/情報交換）
- ・会員増加促進（広報誌や社協だよりなどで、傾聴ボランティアの募集を行う）
- ・活動に賛同してもらえる団体・企業などから寄付金を募る。
- ・活動継続により、孤立防止や社会活動などの参加を増やし、利用者が安心した生活を送れるようにしていく。



事業名： 地域猫活動

団体名： 雑餉隈町地域猫の会

申請年度： 1年目

助成額： 300,000円

総事業費： 479,537円

野良猫を捕獲して不妊手術を施し、元の場所に戻す活動を行っている。
また、子猫は保護して里親に譲渡している。活動に対する地域住民の
理解を広げ、人にも猫にもやさしい地域づくりを目指す。

～私たちの事業目的～



- 野良猫による糞尿の被害や繁殖時の鳴き声などの環境被害の改善。
- 住民同士の餌やりについてのトラブルは広報活動を通じて、地域に双方の理解を促進。
- 飼い主のいない猫を手術して地域猫として地域との共生をめざす。(TNR)

～私たちの活動～



通年

●地域猫 給餌 活動

毎朝毎晩、3班に分かれて雑餉隈町内にて餌と水を与えトイレ環境を整える。

～私たちの活動～②



通年

●野良猫の捕獲 (TNR)

捕獲器で野良猫を捕獲、動物病院にて避妊・去勢手術をした後 元の場所にリリースする。



- ゴミを荒らされなくなった。
- 子猫の鳴き声がしても気になっていたが、保護され安心した。

- 会報誌の回覧を通じて活動への理解を深めた。
- このような地域住民の声により事業実施の効果を感じています。



5

事業名： 安全なまち大野城

団体名： NPO法人route

申請年度： 3年目

助成額： 200,000円

総事業費： 229,401円

地域の交通安全について、地域団体と連携し、啓発活動や見守り活動を行っている。啓発活動や見守り活動を通して、安全対策について関心を集めることで、事故のない子どもたちが安心して歩けるまちづくりを目的としている。

私達が取り組む課題

「通学路の危険」

2019年～2023年の5年間における
小学生の死傷者、負傷者数

2,011人



見守り活動



ボランティアの高齢化 人員不足

共働き世帯の増加も
原因の1つに。



事業報告の様子

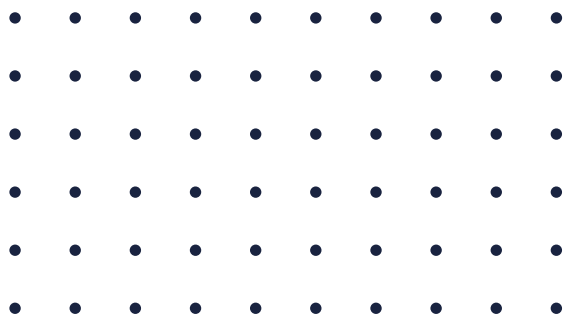
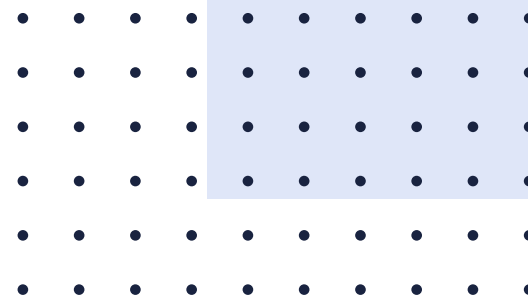


各団体事業報告資料はこちらから



第 2 部

講演会



テーマ

「SDGs時代の持続可能なまちづくりを考える」 ～引き続き必要不可欠な多様性・衡平と包摂（DE&I）～

1967年福岡市生まれ。東京大学工学部卒、1992年外務省に入省。2005年11月より国際連合事務局・人間の安全保障ユニット課長、国連広報センター長を歴任。2014年6月よりデロイトトーマツコンサルティングの執行役員に就任。2017年9月にSDGパートナーズ有限会社を設立し、現在同社代表取締役CEO。2019年12月には事業会社であるSDGインパクトを設立。さらに、2021年9月にはニューヨークのサステナブル・カフェ「Think Coffee」の日本誘致のためThink Coffee Japan株式会社を設立し、現在上記3社の代表取締役。私生活においては、9,000人以上のメンバーを擁する「国連フォーラム」の共同代表理事を務める。

SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO

田瀬 和夫 氏



「SDGS時代の持続可能なまちづくりを考える」
～引き続き必要不可欠な多様性・衡平と包摂（DE&I）～



2025年6月7日

SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO 田瀬和夫

SDGs（持続可能な開発目標）は2015年9月25日に採択され、
17分野の目標（ゴール）と169の数値目標（ターゲット）を持つ

アミーナ・モハメド 国連副事務総長による

SDGsが全体として理解されない原因の一つは
大きなストーリーの一部だけを見ていること

総会決議 A/RES/70/1

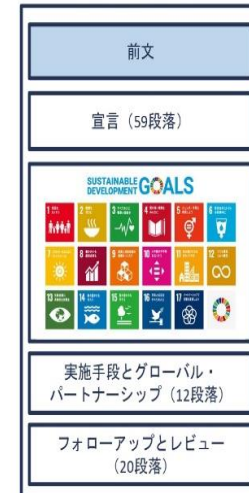


SDGsという文書は全体として
人類の大きな夢を語っている文書
本のようにストーリーがある

17の目標、169の数値目標だけを
いくら読んでもストーリーは
読み解けない

(1) SDGsの前文第二段落は
「誰ひとり取り残さない」決意を述べている

総会決議 A/RES/70/1



前文第二段落

All countries and all stakeholders, acting in collaborative partnership, will implement this plan. We are resolved to free the human race from the tyranny of poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take the bold and transformative steps which are urgently needed to shift the world on to a sustainable and resilient path. As we embark on this collective journey, we pledge that **no one will be left behind.**

(1) 2000年代を通じて広がってしまった
「格差」を解消すべき
人類にとって格差ほどの敵はいない

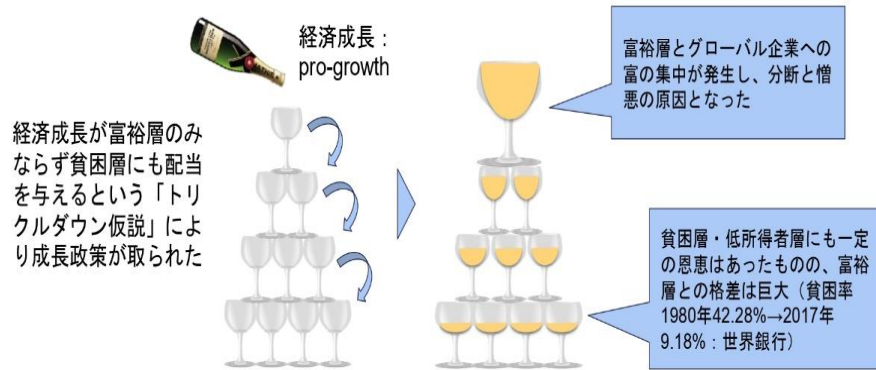
(2) 社会的少数者が排除されない世界を
つくるべき=inclusion

= 「すべての人が」参画できる社会

1990年代の「トリクルダウン仮説」は貧困削減に一定の効果を見せたが、それよりも大きな結果は富裕層とグローバル企業への富の集中だった **SDG PARTNERS**

1990年代、2000年代の仮説と政策

現実には起こったこと ⇒ **テロとイスラム国**



(2) 「Inclusive」はおそらく「Sustainable」と並んで、SDGsの中で最も多く使われている概念の一つ（少なくとも40回） **SDG PARTNERS**

総会決議 A/RES/70/1



3. We resolve, between now and 2030, to end poverty and hunger everywhere; to combat inequalities within and among countries; to build peaceful, just and **inclusive** societies; to protect human rights and promote gender equality and the empowerment of women and girls; and to ensure the lasting protection of the planet and its natural resources. We resolve also to create conditions for sustainable, **inclusive** and sustained economic growth, shared prosperity and decent work for all, taking into account different levels of national development and capacities.

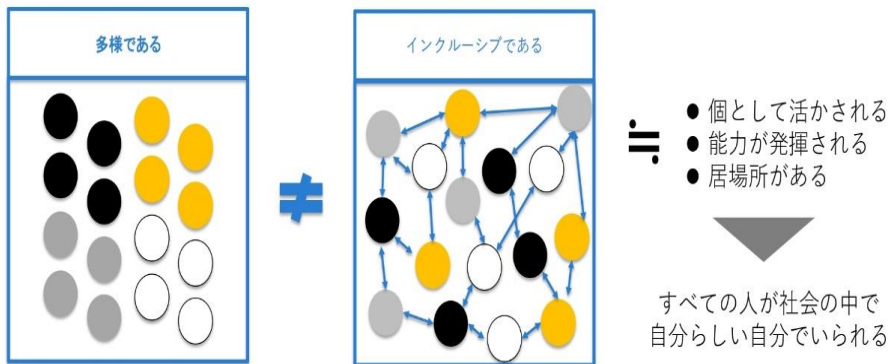
われわれは、2030年までに貧困と飢餓をなくし、すべての国で不平等と闘い、平和で、公正で、**一人ひとりが活かされる社会**をつくる決意を新たにします。

また、経済成長においても、持続可能で**すべての人が参加でき**、繁栄を共有し働きがいのある仕事に就けるような社会としなければならない。

もともとは教育の分野で障害を持っている子どもを含めてすべての人が排除されない=inclusive educationが必要、という問題意識から

⇒ **「すべての人が」
参加できる社会**

Inclusionはいまや、「排除されない」を越えて、「個として活かされる」、「居場所がある」、など「自分らしさ」を追求する概念となったのではないかと **SDG PARTNERS**



(3) 見落とされがちなSDGs第一段落第二文に、この体系全体を理解するキーワードがある **SDG PARTNERS**

総会決議 A/RES/70/1



Preamble

This Agenda is a plan of action for people, planet and prosperity. It also seeks to strengthen universal peace **in larger freedom**. We recognize that eradicating poverty in all its forms and dimensions, including extreme poverty, is the greatest global challenge and an indispensable requirement for sustainable development.

「この文書は人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、**一層大きな自由**における普遍的な平和の強化を追求するものである」

(4) 「よく生きる」(ウェルビーイング)はSDGsを包括的に理解する上で極めて重要な概念



Our vision

7. In these Goals and targets, we are setting out a supremely ambitious and transformational vision. We envisage a world free of poverty, hunger, disease and want, where all life can thrive. We envisage a world free of fear and violence. A world with universal literacy. A world with equitable and universal access to quality education at all levels, to health care and social protection, **where physical, mental and social well-being are assured.** A world where we reaffirm our commitments regarding the human right to safe drinking water and sanitation and

われわれが思い描く世界は、すべての生命が栄え、すべての人が身体的、精神的、社会的によく生きられる世界である

「よく生きる」、「よい人生」とはなんだろう？

(5) SDGsは「世代を越えて」という長期の時間軸が明確にその本質の一つとして組み込まれている優れた枠組みである



Planet

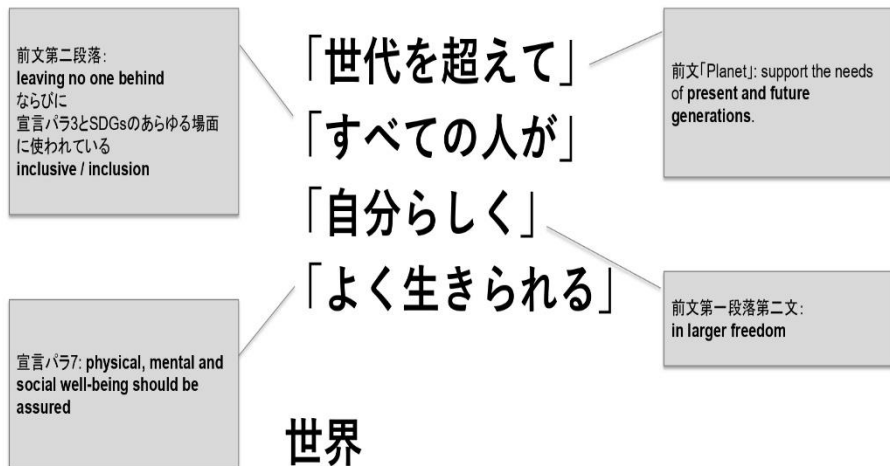
We are determined to protect the planet from degradation, including through sustainable consumption and production, sustainably managing its natural resources and taking urgent action on climate change, so that it can support the needs of the **present and future generations.**

ブルントラント報告書からの引用

持続可能な消費によりこの惑星の環境を守り、特に気候変動に早急に対応することで、**現在と将来の世代のニーズに対応できるようにする**

⇒ 「世代を超えて」人類の理想を叶えたい

SDGsが目指す世界像・ストーリーには大きく4つの価値観が介在する



では、SDGs実現を人材の観点から見ればどのような戦略があり得るか

講演会所感

今年度はSDGパートナーズ有限会社より代表取締役CEOの田瀬和夫氏をお招きし、講演会を実施した。講演会では「SDGs時代の持続可能なまちづくりを考える」をテーマに、SDGsの観点からまちづくりや地域活動についてお話しいただいた。SDGsというと環境問題などサステナブルな点に注目しがちだが、今回の講演では「世代を超えてすべての人が自分らしくよく生きられる」というSDGsの中でも人の観点に重きをおいた内容であった。まちづくりや地域活動の現場において、異なる立場の様々な考えを持った人と接する際に、まずは相手を理解すること、個人を尊重する考え方は、報告団体や来場者にとっても非常に参考になる内容だったと感じる。

講演資料の続きは
二次元コードより



講演会の様子



Copyright: SDG Partners, Inc.
Contact: info@sdgpartners.jp
Web: www.sdgpartners.jp



制作物（団体紹介ポスター）

事業名
主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業

活動のきっかけ

いまは核家族化やひとり親世帯の増加など、子育てにおいても困難を抱えながら地域で孤立し、支援を必要とする家庭が増えているように思います。
私自身も地域から引越して来て、最初はなかなか地域になじめず、気軽に話せる人がいなくて辛い経験をしました。
主婦やママが知り合いを作り、地域や子育ての悩みなどを共有できる場所があったので、そういった環境の場を作りたい・自分が苦勞した経験を活かして、同じ思いをされている方々のために役立て

活動内容

たいとの思いから団体を立ち上げました。また主婦やママが自分時間を作ってもらいたいという思いもあります。
毎回1つのテーマに沿ってイベントを開催しています。
同じ悩みを共感したり、お互いの異なる悩みを共有したり、さくばらんに話してもらえたりしています。各回テーマが絞ることで共通の話題ができ、参加しやすく友達づくりのきっかけにもなるのではと考えています。

公式LINE

ボランティアスタッフ募集

テーマ例

- ★進級（入園・入学）の悩み
- ★転勤族主婦・ママ
- ★アロマやフットヨガでリフレッシュ
- ★一足早い夏祭り・一足早いクリスマス
- ★ママランチタイム
- ★新米 アラフォーママ
- ★共働き主婦・ママ
- ★絵本大好き親子

団体VOICE

団体名
スマイルフレンズ

なかなか地域になじめない...知り合いがない...気軽に話せる友達がない...そんな主婦やママの助けになればという思いから始まった主婦・ママが主役のサロンです。参加する皆さんと一緒にざくばらんに話しながらアットホームなサロンにしたいと思っています。興味のあるテーマがありましたらぜひご参加お待ちしております。

コラボ企画テーマ

- ★子どもの発達への不安 ぼこたのお茶会
- ★防災食を作ってみよう 防災ほっとキッチン
- ★自分でできる顔のリンパマッサージ(Sue)en
- ★親子でできるマネージャーセミナー(キッズマネースクール)

事業名
安全なまち大野城

活動のきっかけ

無免許運転による交通事故により親族が亡くなったことがきっかけで、交通安全の啓発活動の取組みを始めました。活動によって、大野城市が安心安全な街になることを目指しています。

活動内容

中央地区を中心に、通学路の危険箇所の見守りを行っています。また、区や地域団体・企業と連携しながら、安全啓発イベントの実施や地域イベントへの参加、講演会などを実施しています。団体の活動を周知し活動の輪を広げるとともに、地域住民の安全に対する意識の向上を図ります。

Twitter
Youtube
TikTok

団体VOICE

団体名
NPO法人 route

私たちは、大野城市で通学路の安全のために日々活動しています。子どもたちが安心して歩ける街づくりと一緒に取り組んでくださる方を募集中です！

事業名
傾聴活動

活動のきっかけ

傾聴を通して、悩みや不安を抱えた方の気持ちに寄り添うことで、孤独・孤立の防止や社会活動への参加につながる活動を行っています。

活動内容

傾聴活動 ケアマネージャーからの依頼による個人宅・デイサービス施設などの傾聴活動を行っています。
★傾聴ボランティア養成講座 傾聴を普及するため、群馬の方に向けた基礎的な講座や、スキルアップの養成講座を社会福祉協議会にて開催しています。

団体VOICE

団体名
大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

傾聴は、老若男女問わずお話をしたい方であればどなたでも利用することができます。お話し相手が必要としている方、ぜひ「ダンボ」にお話してみませんか？

事業名
地域猫活動

活動のきっかけ

令和3年に設立した地域猫活動の志を継ぎ、現在、避難所では野良猫の数が非常に多く、健康被害の苦情が絶えない状況です。そこで、野良猫を捕獲し、避妊去勢手術と定期的な給餌を、野良猫の数を減らし、養育放棄の苦情を減らすとともに、不幸な猫を減らして住みやすい町にしていきたいです。

活動内容

TNR活動に加えて、餌やりや清掃などのルールを決めて管理し、不幸な猫を減らします。
★TNR活動とは... ニュートン・保護する リターン・元の場所に戻すの頭文字です。

団体VOICE

団体名
雑餉隈町地域猫の会

今後も継続的に活動を行い、たくさん猫を助けていきたいと思っています。猫の避妊去勢手術は1年ではとてもやりきれないため、2年目・3年目と継続する必要があります。活動の成果や報告を行い、さらなる活動への理解の促進に努めていきます。

事業名
子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業

活動のきっかけ

近年、ライフスタイルの変化や地域における人間関係の高齢化などにより、子どもが地域活動に参加する機会が減少し、地域社会での活動を通しての子どもの生活態度、社会性、自然体験が乏しく不足している。
本事業は、子どもたちが地域社会の活動を体験し、子どもたちへ地域社会の活動の楽しさを伝えることを目的とする。

活動内容

★公民館「こどもコミュニティ」で生活体験の場を設け、通学路（通学路）で生活できるポイント活動（通学路）（バスケットボール、野良猫、ゴミ拾い）、文化活動（絵画、音楽、ダンス）、社会体験（自然体験、清掃活動）などを実施する。
★地域活動の目的はボランティア活動、社会体験、キャンプなど。
★地域活動への参加は随時。
★地域の生活活動やイベントへの参加

団体VOICE

団体名
Onojo子どもコミュニティ

市内の小学生～中学生まで、どなたでもご参加頂けます。活動のスケジュール・場所は、LINE公式アカウントで発信しております。

制作物（団体紹介ポスター）

◆ 令和7年度助成事業（新規）

◆ これまでの助成事業



活動のきっかけ

行政により、公園等の管理（草刈り）は年に一度行われているが、草木が伸び危険な状態の所もある。

そのため、瓦田地区の公園や遊歩道の草刈りなどの環境の整備を行い、子どもたちや住民が、安全である。

事業名

公園・遊歩道の環境整備（草刈り）

活動内容

毎月、第一土曜日を活動日と定め、区やおやじの会へ呼びかけをし、瓦田区内の公園である「なかよし公園」「木下公園」「みずほ公園」「一号公園」と遊歩道の草刈りを行う。

団体名

瓦田愛郷会

次の世代にもこの活動を継続し、寄付や会員の増加を図りながら活動を継続していきたい。



活動のきっかけ

大野城市は、多くの事業所が集まる福岡市のベッドタウンとして来え、子育て世帯への支援が手厚いまちです。しかし、市外から転入された方々からは不安や孤立を感じるという言葉がイベントを通して多く聞かれています。

事業名

Hugsスポット 子育て場所を私たちの手で

活動内容

大野市の施設や団体にご協力いただき、マルシェイベントなどを開催する。

- ・アンケート収集
- ・相談ブース開設（しゃべり場）

△相談内容によっては、ボランティアとしてイベントに関わる事を推進したり、チャレンジ出店の支援をする。または、関係各所への橋渡しをする。

- ・文庫のある公園（大町公園）読み聞かせライブ
- ・絵本のお語り会の開催。
- ・親子参加型のワークショップの開催。

団体名

（一社）おおのじょうMONO創りLab.

イベントを通じ、現在、子育てに不安や孤独を感じている方々（ママ・パパなど）の出会いと交流・大野城市で活躍できる場を作っていきたい。

2020
～
2022

助成事業

市内で遺棄・虐待を受けたねこを保護し、病院で検査・治療をしたあと、SNSを活用し里親の元へ送り出す。また、地域の環境保全のため清掃活動も行っている。

事業名

心をひとつに きれいな街づくり

団体名：ONOJOにゃっとわーく



2019
～
2021

助成事業

野良猫を地域で適正に管理し、人も猫も安心して生活できる、命にやさしい地域・より住みやすい地域をすることを目指す。

事業名

人とねこが住みやすい 街づくり

団体名：柴町 人とねこの幸せの会



2017
～
2018

助成事業

周辺地域の活性化やにぎわい創出事業および地域住民の交流事業に取り組み。また、周辺地域の清掃活動や夜間パトロールなどに取り組み、子どもたちも含め安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。

事業名

リンクタウン 「しもおおり」

団体名：下大利西口まちづくり協議会



2016
～
2018

助成事業

さまざまな地域課題を解決するには、まず住民同士の絆づくりが必要だという思いから、地域住民の交流の場を創出することを目的とした事業。定期的に「わくわくカフェ」というサロンを開設・実施し地域住民の交流を促進している。

事業名

地域コミュニティ カフェ事業

団体名：わくわくカフェプロジェクト



広報

コミュニティセンター館内掲示（ポスター/デジタルサイネージ）

パートナーシップ活動支援センターSNS（ホームページ/Instagram/facebook/LINE）

大野城市内公民館

大野城まどかぴあ（ホームページ）

大野城心のふるさと館

コミュニティ通信

大野城市市報

西日本新聞me 福岡イベント情報

関係各所/近隣店舗へのチラシ・ポスター掲示依頼



新たな試みとして、Instagramを活用した事業報告団体の紹介やストーリーズでの開催告知カウントダウンなどを行った。

アンケート結果

◆ 回答者28人（市内21人、市外5人、未回答2人）

報告団体関係者8人 一般20人

●所属（一般20人内訳）

所属	人数
NPO/ボランティア団体	3人
行政	9人
※その他	8人

※その他：個人

社会福祉協議会

令和7年度助成事業団体

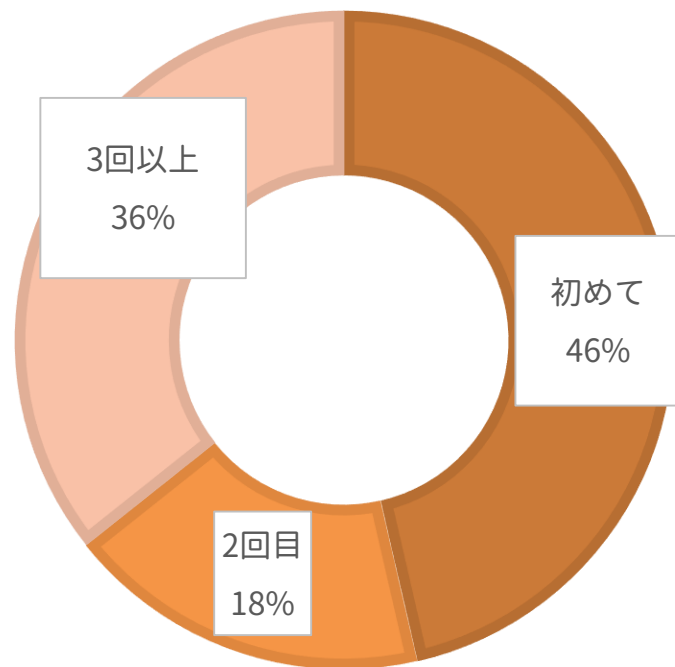
大野城市議会議員など

●年代

年代	人数
10代	0人
20代	1人
30代	2人
40代	6人
50代	4人
60代	5人
70代以上	3人
未回答	7人

◆ 1. 本日の報告会について

Q1. 報告会の参加について

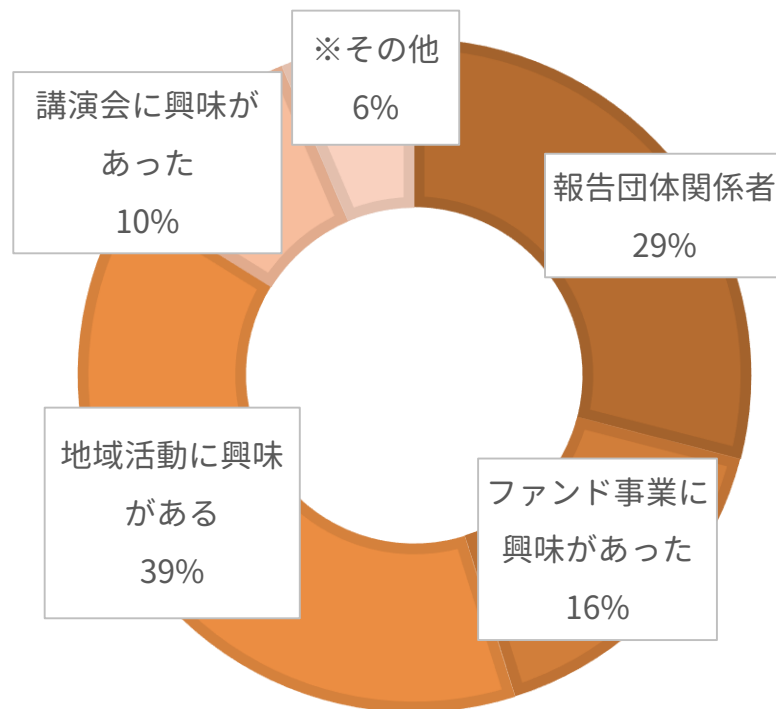


Q2. 報告会をどのようにして知りましたか？（複数回答あり）

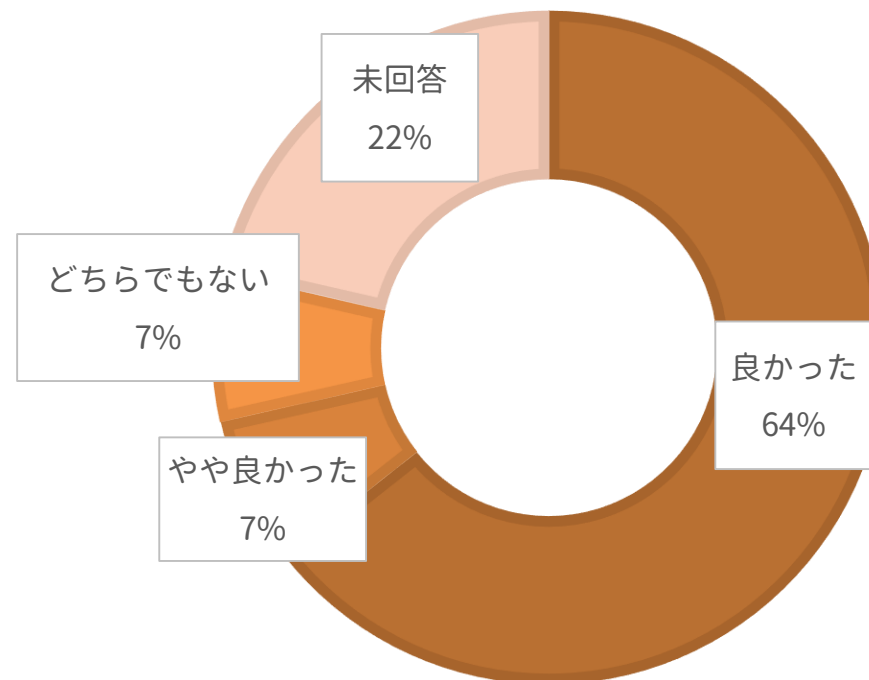
項目	回答	割合
コミュニティセンター館内	6 人	17.1%
コミュニティ通信	4 人	11.4%
市広報	6 人	17.1%
知人紹介	5 人	14.3%
パートナーシップ活動支援センターHP	2 人	5.7%
Instagram	1 人	2.9%
LINE	2 人	5.7%
Facebook	1 人	2.9%
※その他	4 人	11.4%
未回答（報告団体）	4 人	11.4%

※その他：PSセンター職員からの案内

Q3. 来場理由について（複数回答あり）



Q4. 報告会の全体的な内容について（構成・会場・アクセス・進行など）



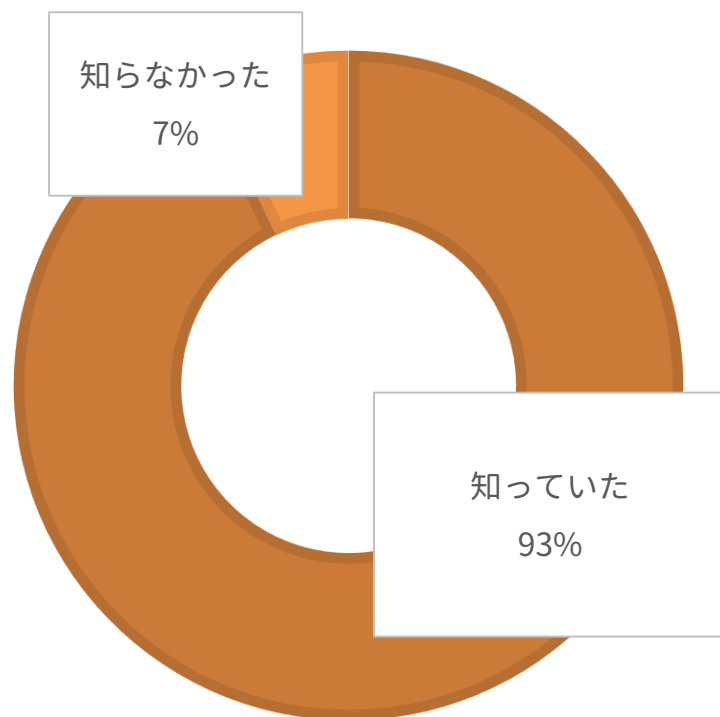
※その他：令和7年度助成事業団体

【Q1～Q4 アンケート意見】

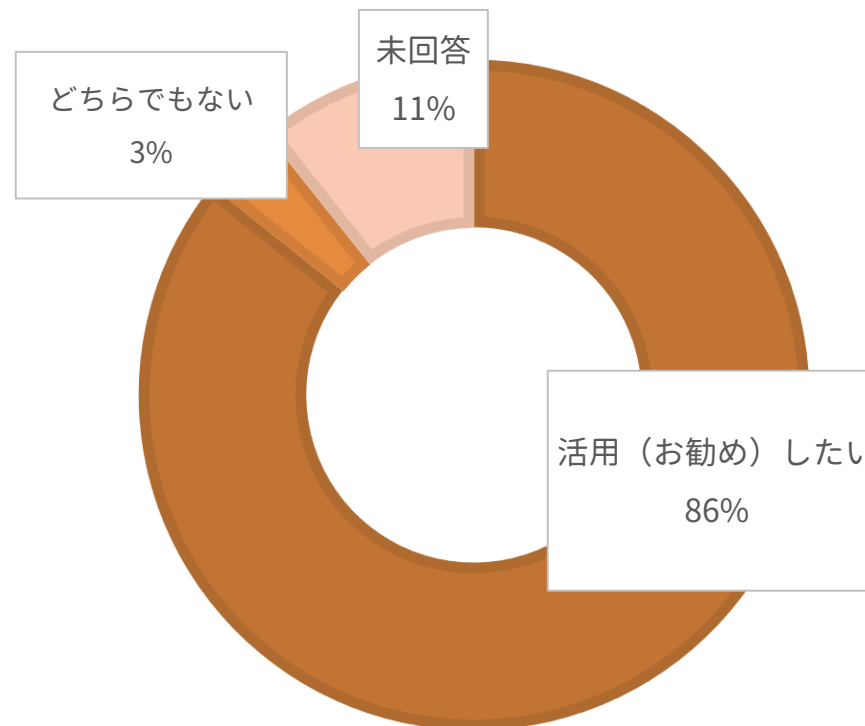
- ・全体的に良かった。例年今回の場所・方法で開催してほしい。活動報告に感動しました。
- ・団体の活動内容が良くわかりました。今後どういうふうに活動を広められるのか気になった。
- ・会場進行などとても良かった。進行がスムーズで聞きやすかった。
- ・資料にもう少し詳細が欲しかった。時間は午前中の方がありがたい。
- ・託児ボランティアとして活動に関わり、初めて報告会に参加し他団体の活動も知れて良かった。

◆ 2. コミュニティ活動応援ファンド事業について

Q5. ファンド事業の制度について



Q6. ファンド事業を活用（お勧め）したいですか？

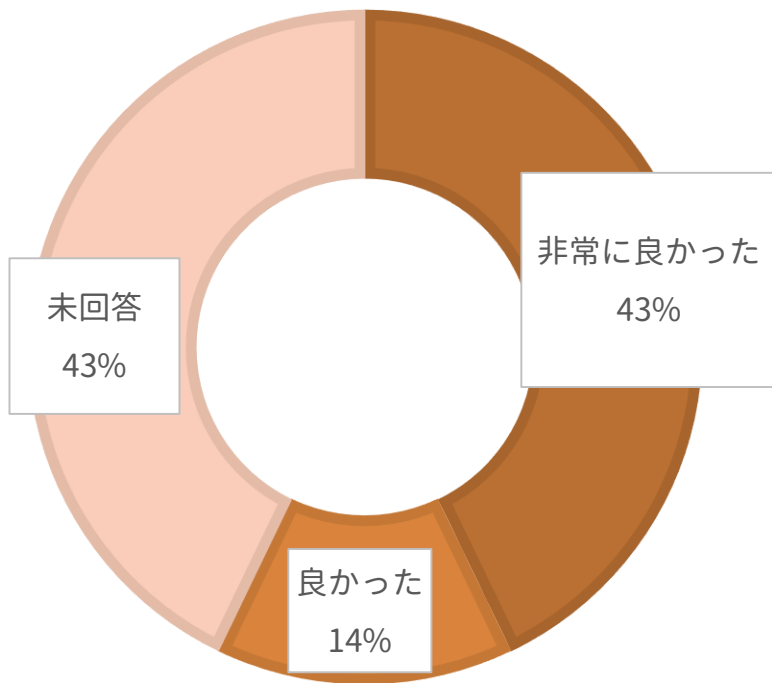


【Q5～Q6アンケート意見】

- ・良い制度であるため、機会があれば活用したい。
- ・団体のステップアップに重要だと思います。
- ・今回の団体さんのように、大野城市や全国につながる活動が増えて欲しいと思った。
- ・今回は事業内容を学びたいと思い参加しました。大変参考になりました。

◆ 3. 講演会「SDGs時代の持続可能なまちづくりを考える ～引き続き必要不可欠な多様性・衡平と包摂（DE&I）について～

Q7. イベント内容について



【Q7. アンケート意見】

- 良い講演でした。最後まで聞きたかったです。
- 大変共感しました。ありがとうございます。
- とても気になる内容だったので聞いてよかった。いろいろと考えさせられた。
- 今までの講演の中でもトップクラスにおもしろく考えさせられるものだった。今後も田瀬さんと関係を続けることができれば。
- SDGsは知っていましたが前文や宣言など本当の意味でのSDGsを初めて知れたのでとても勉強になりました。多様性についても大事なことという漠然とした理解でしたが人と違うこと＝個性であり素晴らしいことだと理解できました。私も人と違う長所を見つけ、自分らしく社会に貢献できる人になりたいです。

◆ 子どもによる地域活動の実施・発展を目指した事業について

Onojoこどもコミュニティ

項目	人数	割合
良くわかった	16 人	57.1%
ややわかった	4 人	14.3%
どちらでもない	0 人	0.0%
わからなかった	0 人	0.0%
未回答	8 人	28.6%

【アンケート意見】

- ・自分の子どもが小さかった頃にこの事業があればよかったなあと思いました。子ども達の表情や様子から活動の素晴らしさが伝わってきました。
- ・子どもにとって楽しく過ごす場所、友達づくり、交流の場となる素晴らしい活動だと思います。今後ともよろしくお願いします。
- ・地域で子ども達を守っていかないといけないと思いますが、挨拶された子ども達が不審者ではないかと思ってしまう現状があることに非常に驚きました。そんな中で地域との関わりや交流を大切にしているこの活動は、子ども達の安全につながる素晴らしい活動だと思いました。

◆ 主婦友・ママ友サポート & 子育て応援事業

スマイルフレンズ

項目	人数	割合
良くわかった	17 人	60.7%
ややわかった	3 人	10.7%
どちらでもない	0 人	0.0%
わからなかった	0 人	0.0%
未回答	8 人	28.6%

【アンケート意見】

- ・親が孤立しない事はとても大事だと思います。
- ・3年続けられての活動ぜひ続けてもらいたいです。テーマ別に集まれるのは他にないと思います。これからもママが主役のサロン楽しみにしています。
- ・知り合いが少ない中での子育ては本当に大変。そんな仲間同士の結びつき。これからもがんばってほしいです。
- ・子育て一段落ママのテーマの活動参加したいです。
- ・新しい環境で子育てをしないといけない方々にとって参加しやすいコミュニティがあることが素晴らしい。また、テーマを設けることで参加しやすくなることや、他団体の交流など積極的な取組みをされていると感じた。子どものお小遣いをFPに相談できるというセミナーが面白いなと思いました。

◆ 傾聴活動について

大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

項目	人数	割合
良くわかった	18 人	64.3%
ややわかった	0 人	0.0%
どちらでもない	1 人	3.6%
わからなかった	0 人	0.0%
未回答	9 人	32.1%

【アンケート意見】

- ・長く活動を続けていることに感動しました。ダンボの由来がすてきです。
- ・高齢の母と向き合いながら、いかに相手の話を聞いてあげることの大変さを感じています。本当に素晴らしい活動がんばってください。
- ・話すこと、聞いてもらうことで解決する、楽になる事は沢山あるのでとても地道で大変な活動ですが続けていけるよう応援したいです。
- ・傾聴+お茶の時間を提案します。活動頑張ってください。
- ・高齢化の進む中で誰かに話しを聞いてもらえる環境はとても大切だと思いました。資料もみやすく、分かりやすくすばらしい発表でした。

◆ 地域猫活動について

雑餉隈町地域猫の会

項目	人数	割合
良くわかった	17 人	60.7%
ややわかった	2 人	7.1%
どちらでもない	0 人	0.0%
わからなかった	0 人	0.0%
未回答	9 人	32.2%

【アンケート意見】

- ・活動はとても地道で大変ですがとても共感しています。頑張ってください。
- ・街にとって大切な事業で命を守ることの大切さ、子ども達にとっても学びになると思います。
- ・私自身ネコ好きなのでこのようにネコの幸せが地域で広がっていること、嬉しいです。これからも頑張ってください。
- ・我が地域でも野良猫の苦情を聞きます。団体さんのPRが広く届くといいなと思いました。
- ・ノラ猫はフンや鳴き声などから嫌われてしまいましたが、その原因を取り除くことで猫が嫌われることを防いでいるためすばらしい活動だと思いました。また子猫を里親に出すことで子猫の未来や新たな野良猫を増やさないことにもつながっており、町や猫のためにもなっていると感じました。

◆ 安全なまち大野城について

NPO法人route

項目	人数	割合
良くわかった	17 人	60.7%
ややわかった	1 人	3.6%
どちらでもない	0 人	0.0%
わからなかった	0 人	0.0%
未回答	10 人	35.7%

【アンケート意見】

- ・地域のシニアクラブとの連携頑張ってください。
- ・子どものみならず、大人も一緒に交通安全を学べる場。とても素敵です。
- ・運転する身として考えることができました。
- ・日頃より地域ボランティアさんの活動に感謝しています。ボランティアの高齢化や人員不足の課題に向き合い新しい活動をされている様子、初めて知りました。ありがとうございます。
- ・テレビで拝見したことがあります。この活動が地域に広がるといいですね。
- ・子どもたちの安全を守ることはもちろん、運転手として旗持ちのボランティアの方々はとてもありがたい存在なので素晴らしい活動だと思いました。パトローラは初めてみましたが子どもたちの交通安全の向上につながったり、この活動が全国に広がったりとすばらしい活動になっていることに感動しました。

総評

会場を昨年度の南コミュニティセンターから大野城まどかぴあに変更したこともあり、来場者数は昨年度の26人から38人と約1.5倍に増えた。アンケート結果では「はじめて参加」の回答が半数近くあった。館内掲示・市広報・SNSなどさまざまなツールから報告会を知り参加した方が多かったため、来年度も同様に幅広い周知活動を行うとともに、Instagramストーリーズで報告会までの準備の様子（会場の下見・制作物の様子など）や報告団体の紹介などを定期的に行い温度感高く投稿を行うことで、広報の強化に努めたい。また、内容としては「良かった」「やや良かった」の回答が7割近くあり、アンケートからも団体の活動に対して共感・応援する意見が多く、各団体の事業報告が身を結んだ形となった。

2部では「SDGs時代の持続可能なまちづくりを考える」をテーマに、地域活動や地域（社会）課題に取り組むうえでも大事な個人を尊重した考え方など、SDGsに関する多様な要素を多くの人に知ってもらうことができた。アンケートのコメントからも非常に好評だったことが窺える。一方、講演時間の長さや内容の難しさに関する意見も少数見られた。来年度は、身近な地域活動に焦点を当てた事例紹介や令和4年度に好評であったトークイベントの開催など、今年度に引き続き多くの方が興味を持ち、共感を得られるような内容を検討していきたい。

南パートナーシップ活動支援センター

〒816-0964
大野城市南ヶ丘5丁目9番1号

TEL (092) 596-0686

FAX (092) 596-0348

✉ minamips6232@gmail.com

中央パートナーシップ活動支援センター

〒816-0942
大野城市中央1丁目5番1号

TEL (092) 573-3127

FAX (092) 587-6277

✉ chuou3127@gmail.com

東パートナーシップ活動支援センター

〒816-0904
大野城市大池2丁目2番1号

TEL (092) 504-1428

FAX (092) 504-1595

✉ higaships504@gmail.com

北パートナーシップ活動支援センター

〒816-0912
大野城市御笠川1丁目17番1号

TEL (092) 513-0099

FAX (092) 504-5102

✉ kitaps3150099@gmail.com

パートナーシップ活動支援センター ▶

